

平成 30 年度 依存症民間団体支援事業報告

団体名 公益社団法人全日本断酒連盟

事業名 SBIRTS 普及促進セミナーの展開

－受診後のアルコール依存症患者支援のために－

<活動内容の概要>

平成 30 年度厚生労働省の依存症対策の施策として、「受診後の患者支援に係るモデル事業の構築」が掲げられた。この施策の重要な柱として、受診後の依存症患者を民間団体（自助グループ）に繋ぐことが示されている。

この作業は、依存症の早期発見から早期治療、そして一時的回復から長期的回復へと導く一連の治療コンセプト（SBIRTS）の最終局面にあたるものであるが、実際には、非常に難しい。アルコール依存症者の専門医療受診率が5%に満たないという現状が示すように、病気の特徴としての否認があるからである。漸く、専門医療に結び付いても、さらに一步先の自助グループへの連結となると、治療者（医師・医療従事者）の普通の推奨努力では、成功率が専門医療機関への受診率以上に小さなものとなる。

本事業は、冒頭の厚生労働省の施策に対応するかたちで、主として、地域の医療従事者と行政機関でアルコール問題相談に当たられる方々を対象に「SBIRTS」の概念を周知し、治療の最終段階である自助グループへの連結のため、行政・医療・自助グループ三者による地域連携の重要性を再確認いただくとともに、どのようにすれば、依存症者が自助グループに繋がるかについて、研修の機会を提供するものである。

<事業の成果>

平成 30 年 11 月～平成 31 年 3 月の期間に、全国 9 地域（宮城県、埼玉県、愛知県、三重県、京都府、大阪府、広島県、徳島県、熊本県）に於いて、滞りなく実施することができた。

セミナー出席者総数は 609 名に達し（行政 143 名、医療 238 名、自助グループ等 228 名）、実施したアンケート調査も 401 名（回答率 66%）から回答を得て、事業目的を十分に果たすことができた。

1. 参加者からは、今後も、さらに実践的内容を加えたセミナーを継続して開催してほしいとの要望が概ね 100%に達した。
2. インターネットを通じて、セミナー開催状況を周知した結果、多くの地域から次年度の開催要請を受けるなど大きな反響があった。
3. アルコール健康障害対策、依存症対策について、自助グループが初めて主導した実践的及び具体的な連携活動として、地域行政機関、地域医療関係者から高い評価を受け、自助グループへの信頼感向上に寄与することができた。

4. SBIRTS 普及促進セミナー・プログラムの概要

- (1) SBIRTS の活用と普及促進について 専門医療機関医師
- (2) ワーク・ショップ SBIRTS 実施現場のロール・プレイ
- (3) 厚労省平成 30 年度依存症対策の解説 全日本断酒連盟
- (4) 地域からの発表 地域行政機関、地域医療機関
- (5) シンポジウム SBIRTS の普及と受診後の患者支援

5. SBIRTS 普及促進セミナー実施一覧表

月日	地域	開催会場	参加者数
平成 30 年 11 月 4 日	三重県	津市 三重断酒新生会[断酒の家]	58
12 月 1 日	熊本県	城南町 火の君文化センター	70
12 月 9 日	愛知県	刈谷市 刈谷病院	88
12 月 9 日	大阪府	東大阪市 クレアホール・ふせ	94
平成 31 年 2 月 22 日	徳島県	徳島市 生涯福祉センター	51
2 月 24 日	広島県	広島県医師会館	87
2 月 27 日	宮城県	仙台市戦災復興記念館	31
3 月 3 日	埼玉県	さいたま市 産業文化センター	71
3 月 17 日	京都府	京都市 京都テルサ	59



愛知県刈谷病院の SBIRTS 普及促進セミナー



ワーク・ショップ (SBIRTS の実演)